

研究テーマ：JGN2plusを利用したテレ-immージョン技術による遠隔コ ラボレーション環境の構築(1/2)

(プロジェクト番号JGN2P-A20027)

研究機関：岩手県立大学、京都大学、東京大学、筑波大学、
福岡工業大学、Electronic Visualization Laboratory
大阪大学、北陸先端科学技術大学院大学

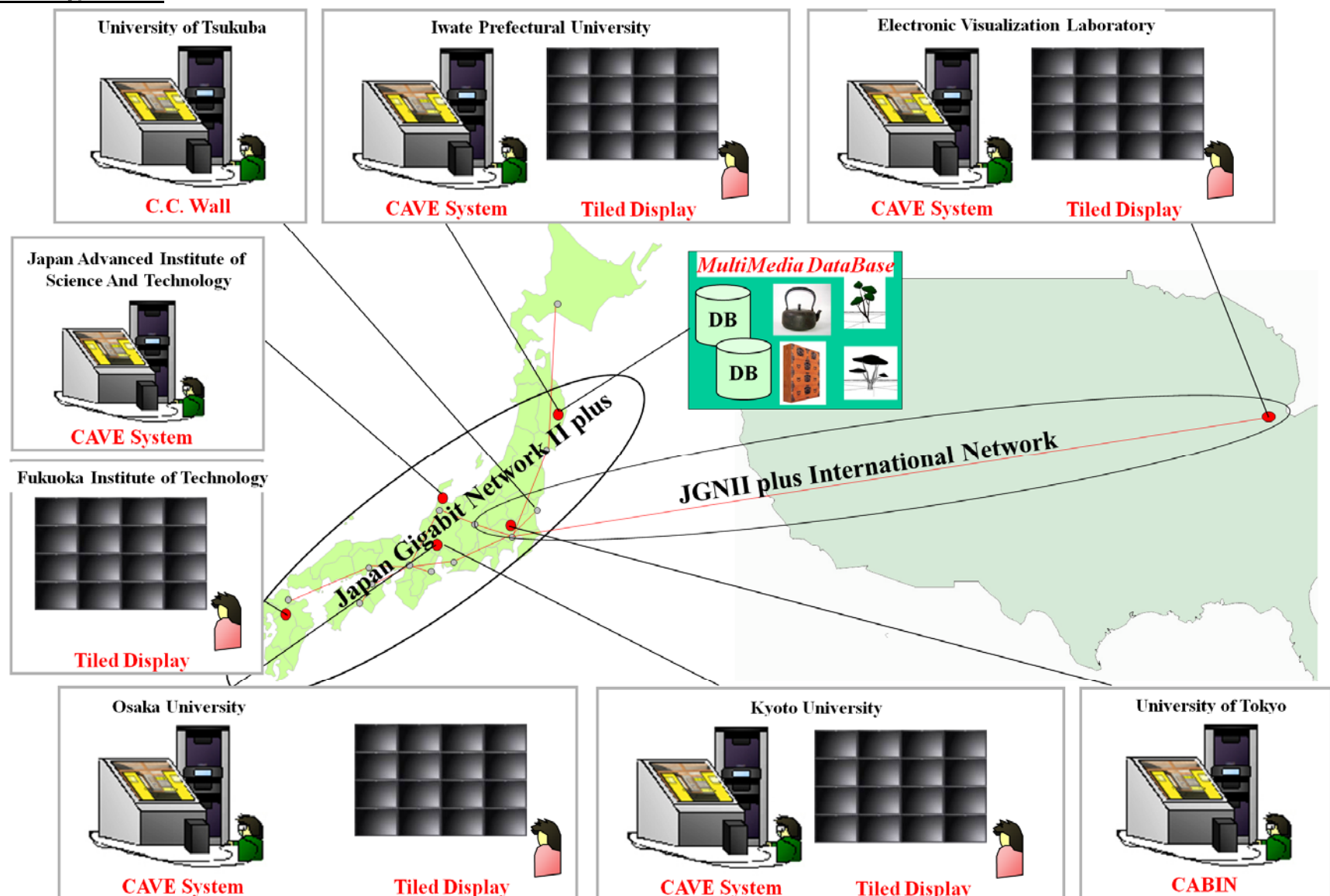
研究の概要：

本研究プロジェクトでは、テレ-immージョン(Tele-Immersion: 臨場感通信)の基礎及び応用分野として、高臨場感な遠隔コラボレーション環境をJGN2 plus上において構築する。本研究プロジェクトで開発されたテレ-immージョン技術の社会的応用を目指し、JGN2 plus上でのシステム開発側およびコンテンツ制作側双方の交流を促進する次世代のコミュニティの形成を目指す。

研究の目的：

- 1) テレ-immージョン技術による遠隔コラボレーションにおける通信実験環境の構築
 - 日本全国に分散する高臨場感システムの相互接続
 - 共有環境統合サーバ設置によるテレ-immージョン技術の基礎的な実験および評価
 - テレ-immージョン技術を対象にした共通的なプロトコルの創出
- 2) システム開発者やコンテンツ制作者などの交流促進を目的としたネットワークコミュニティの実現
 - コンテンツ制作者や利用者のアイデア・評価を反映させるための開発支援コミュニティの構築
 - テレ-immージョンに関わる意見交換の場をテレビ会議システムの利用により実現

実験機器構成：



研究テーマ：JGN2plusを利用したテレマージョン技術による遠隔コラボレーション環境の構築(2/2)

(プロジェクト番号JGN2P-A20027)

研究機関：岩手県立大学、京都大学、東京大学、筑波大学、
福岡工業大学、Electronic Visualization Laboratory
大阪大学、北陸先端科学技術大学院大学

研究開発成果：

JGN2plus上における没入型システムを相互接続させた様々なアプリケーションは以下のとおり。



プロジェクトのアピールポイント：

本研究プロジェクトでは、同一の仮想環境の構築に向け、JGN2 plus上に複数のシステムを共有するための共有環境統合サーバを設置し、テレマージョン技術に関する基礎的な実験および評価を行った。また、システム開発段階において日本全国のコンテンツ制作者や利用者のアイデアや評価を反映させるための情報共有の場として定期的な研究会を開催しながら、高臨場感遠隔コラボレーションを目指した実装技術・知識を全参加機関で共有することが出来た。

プロジェクトの自己評価：

本研究プロジェクトでは、研究計画に基づき適切に進めることが出来た。平成 20/21 年度は研究計画に基づき、テレマージョン技術による遠隔コラボレーションにおける通信実験環境を構築した。また、プロジェクト期間の 3 カ年においてシステム開発者とコンテンツ制作者及び利用者間の交流促進を目的としたネットワークコミュニティを実現した。最終年度は、様々なアプリケーションの機能・性能評価を実施し、関連研究や既存研究に対する構築システムの有効性を確認することが出来た。